

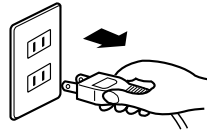


11 消耗部品の交換方法

消耗部品の交換は日々のメンテナンスで必要となつてまいりますので、以下の「消耗部品の交換方法」に従って行ってください。

 **警告** 取扱説明書に記載している「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると感電や火傷をする危険性があります。

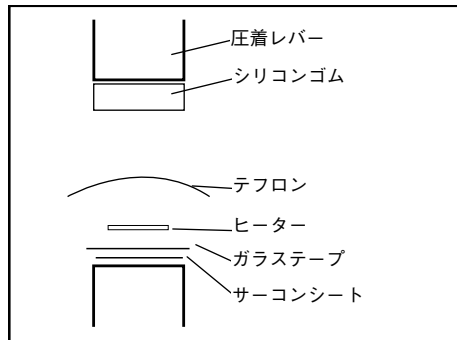
 **警告** 各部品の交換の前には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。



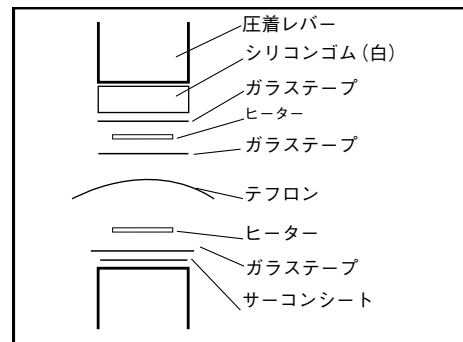
必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

シール部は下図の消耗部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

1 V-300 のシール部の構成



2 V-300-10W のシール部の構成



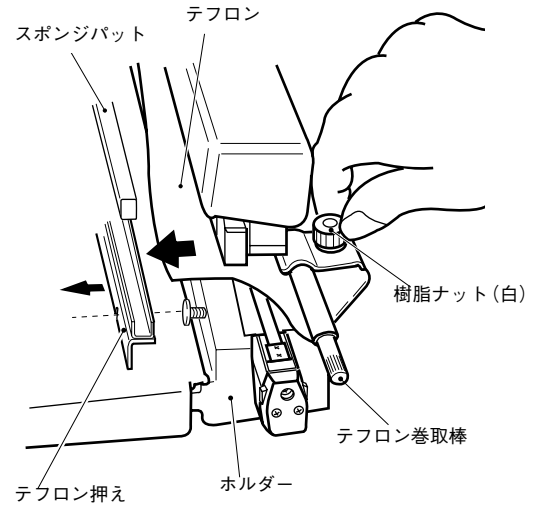
1 テフロンのずらし方

【必要物】はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】テフロンが破れた、焦げた シールが汚い等

テフロンは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 テフロン押えの止めビス3本を緩めてテフロンの端を引き出します。(左のイラストはテフロン押えを取り外した状態で描いています。)
- 2 テフロン巻取棒が回せる程度に樹脂ナット(白)を緩めて、テフロンを矢印の方向に引っ張り出してください。
- 3 テフロンの不要部分をハサミで切り取ります。
- 4 テフロンの端をテフロン押えとホルダーの間に入れテフロン押え板を固定するビスを締めてセットします。
- 5 テフロン巻取棒を回してテフロンのたわみをなくしてください。
- 6 樹脂ナット(白)でテフロン巻取棒を固定してください。



2 ヒーターの交換

ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。

警告 もし誤って、ビスCを紛失した場合、ビスC (M4x6) より長いビスを代用しないようにしてください。ビスCより長いビスを使用すると電極台を固定しているビスDと接触して、ショートする危険性があります。

注意 ヒーター交換時はガラステープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。ガラステープ、サーコンシートが傷んでいてヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

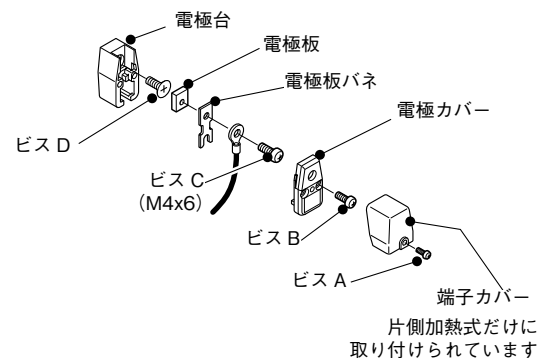
【必要物】プラスドライバー

【交換の目安】ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い 等

ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

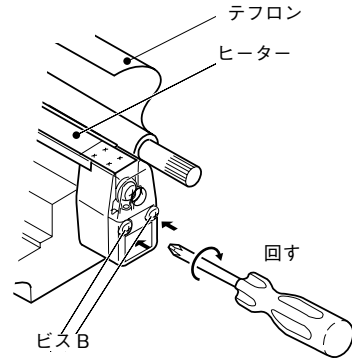
MEMO ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバーをはずさないでヒーターを交換できる構造になっています。

電極部の構成

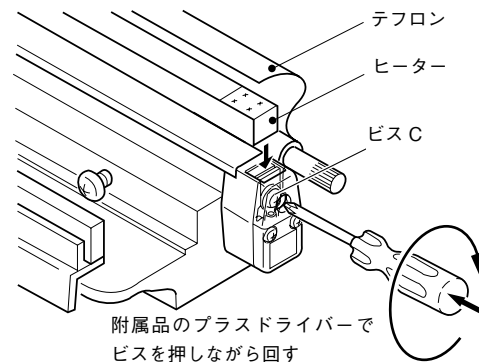


2-1 下側 (V-300、V-300-10W 共通)

- 1 テフロンをはずします。(17 ページ：テフロンのずらし方を参照)
- 2 左右双方電極のビス A をプラスドライバーで緩めて端子カバーをはずします。(右イラストは端子カバーを取り外した状態です。)
- 3 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。(電極カバーをはずす必要はありません。)
- 4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 5 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 6 3 で緩めたビス B を確実に締め付けヒーターが左右に張られた状態にします。(ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります)
- 7 電極に端子カバーをビス A で固定してください。



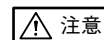
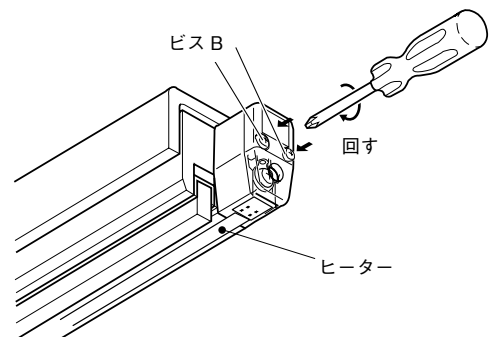
ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。



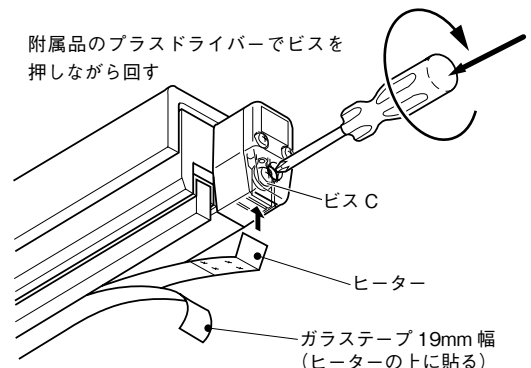
付属品のプラスドライバーでビスを押しながら回す

2-2 上側 (V-300-10W)

- 1 上側のテフロンをはずします。(17 ページテフロンのずらし方を参照)
- 2 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。(電極カバーをはずす必要はありません。)
- 3 電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 4 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 5 2 で緩めたビス B を確実に締め付けヒーターが左右に張られた状態にします。(ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります)



ビス B を緩めないと、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。



付属品のプラスドライバーでビスを押しながら回す

3 ガラステープ、サーコンシートの交換

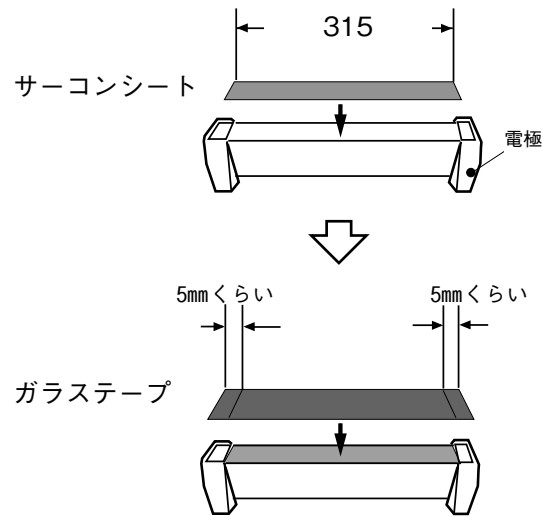
【必要物】はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】ヒーターがよく切れる。シールが汚い。等

ガラステープ、サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 テフロン、ヒーターを取り除いてください。
- 2 ヒーター下側のガラステープとサーコンシートをきれいにはがしてください。
- 3 新しいサーコンシートをシール部の長さより少し長めに貼り付けます。(1枚)
- 4 ガラステープをサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。約5mm ずつシール面の外側(電極の上)から貼り付けてください。(1枚)

MEMO 粘着のりが残っている上にテープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。



4 シリコンゴム (白) の交換

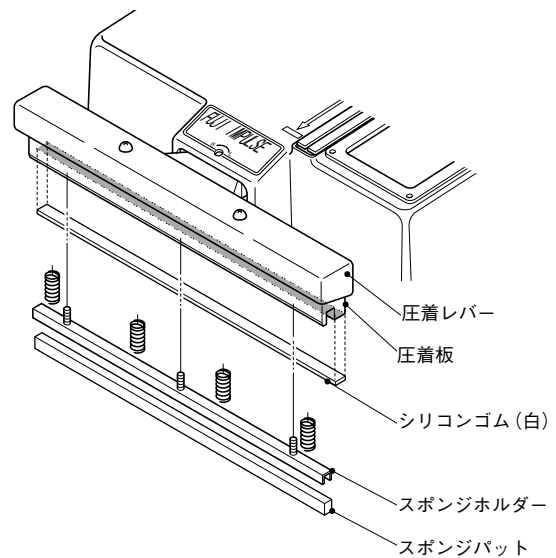
【必要物】シンナー、工業用アルコール

【交換の目安】シールが汚い 等

シリコンゴム (白) は単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 V-300-10W の場合は、シリコンゴム (白) の上に貼ってあるガラステープをはがしてください。
- 2 シリコンゴム (白) を取り去ります。
- 3 圧着板に残った粘着のりを工業用アルコールなどを使ってとります。
- 4 新しいシリコンゴム (白) を圧着板の端から順に(右イラストの圧着板のグレー部分に)丁寧に貼ってください。

MEMO シリコンゴム (白) は貼り直しできません。



5 フィルターの清掃とエレメントの交換

【必要物】フィルターケースが堅くて回らないときは
モンキレンチ、ペンチ

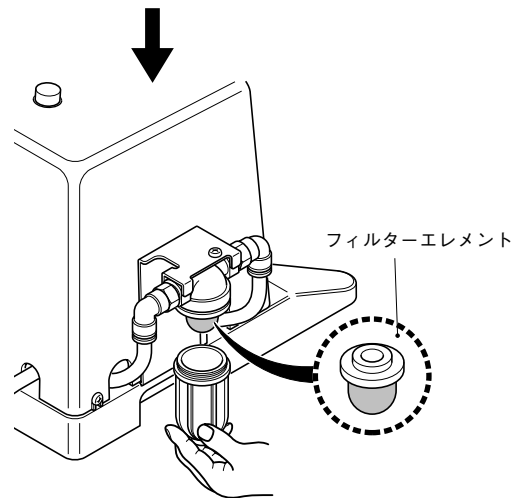
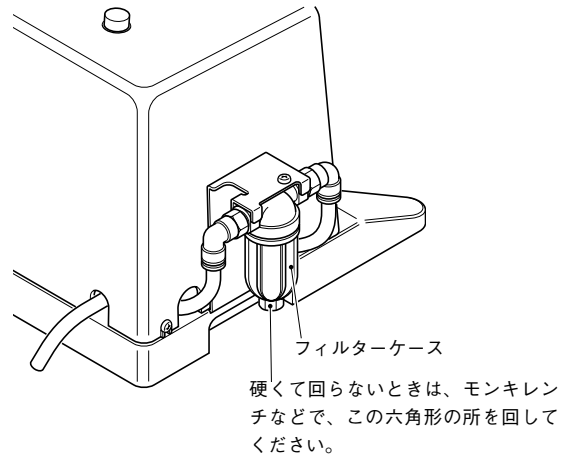
【交換の目安】脱気力が低い、脱気しない、フィル
ター及びエレメントの詰まりがひどい

フィルター、フィルターエレメントは単品販売
しています。

ノズルより吸い込まれてしまった米粒や異物は、
本体側面のフィルターケースの中に蓄積されます。
上記の【交換の目安】のような症状が発生した場
合は以下の要領でフィルターエレメントの清掃、ま
たは交換を行ってください。

- 1 エレメントが目詰まりして脱気が弱くなったと
きや、フィルターケースに物が詰まっていると
きは左イラストのようにフィルターケースを取
り外して清掃してください。
汚れ、詰まりがひどい場合はフィルターエレ
メントを交換してください。
- 2 フィルターケースをはずして中のフィルターエ
レメントを左に回して抜き取り、新しいフィル
ターエレメントを差し込んでください。

MEMO フィルターケースが堅くて回らないときは
モンキレンチなどでケースの下側の六角形
の突起部を回してはずしてください。



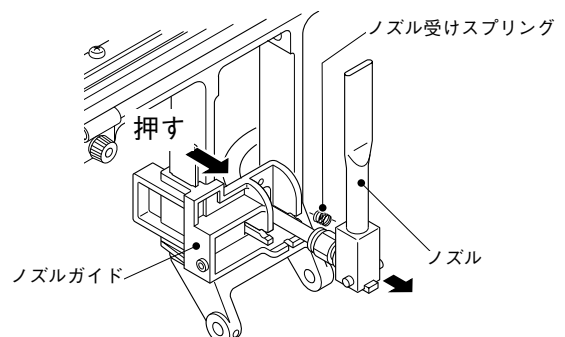
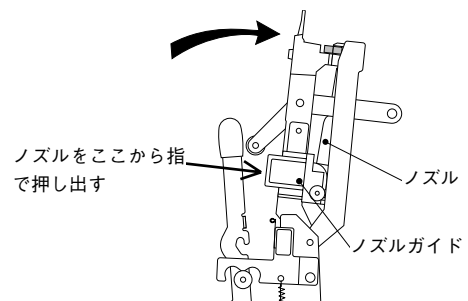
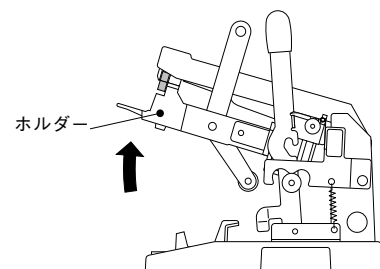
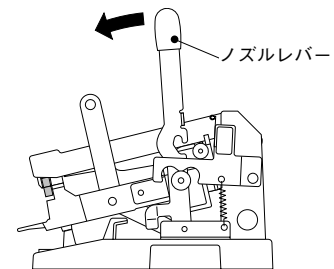
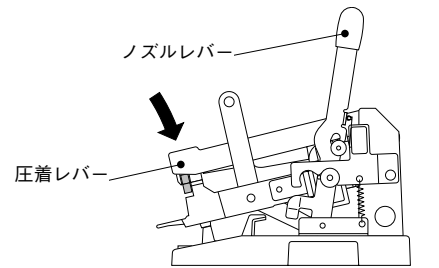
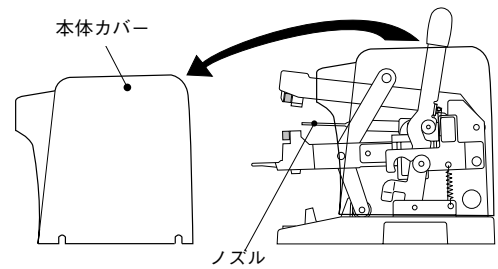
6 ノズルの交換

ノズルの詰まりがひどい場合は下記の方法でノズルを取り外して清掃を行ってください。

【必要物】プラスドライバー

【交換の目安】脱気力が低い、脱気しない、ノズルが詰まっている

- 1 本体カバーとテーブルを取り外します。
- 2 ノズルレバーを手前に引かずに圧着レバーを下まで押し下げます。
- 3 圧着レバーを押し下げた状態のままでノズルレバーを手前に引きホルダーとの連結部をはずします。
- 4 ノズルレバーを持ったままホルダーを上へ持ち上げます。
- 5 さらにホルダー部を上へ持ち上げますとノズルの下側のノズルガイドが見えるようになります。
- 6 ノズルはノズルガイドにはめ込んでありますので指で押し出せば、はずれます。
MEMO ノズルとノズルガイドの間にノズル受けスプリングがあります。ノズルを取り外す際に紛失しないように注意してください。
- 7 取り付ける時は、カチッと音がするまで確実にはめ込んでください。

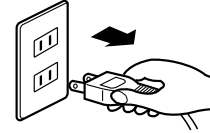


12 シール圧力の調整方法

使用する袋(フィルム)の材質や厚さによって適切なシール圧力が異なります。

初めて機械を使う時、及び袋を変更してシールがうまくできなくなった時はシール圧力を調整してください。

警告 調整をしている途中でマイクロスイッチがONの状態になると危険ですので、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 1 テーブルを押し下げると、調整ネジの頭が本体カバー上の調整穴から見えるようになります。
- 2 付属品のプラスドライバーを穴に差し込んで調整ネジを回してシール圧力の増減を調整します。
- 3 左に回すと、シール圧力は増大します。
矢印の(H)方向
- 4 右に回すと、シール圧力は減少します。
矢印の(L)方向

注意 調整ビスを大きく締めすぎたり、緩めすぎると部品を破損させたり、部品の連結がはずれたりしますので、注意して調整を行ってください。

